



2010年11月11日

2020年度に向けた新たなNTTグループ環境ビジョン

～ THE GREEN VISION 2020 ～

NTTグループでは、「NTTグループ地球環境憲章」[※1](#)のもと、「温暖化防止」、「廃棄物削減」、「紙資源削減」という3つの重点活動項目において2010年度までの目標を設定し、その全ての目標が達成見込みとなるなど地球環境保護に取り組んできました。（[別紙1](#)参照）

この度、「NTTグループ地球環境憲章」の基本方針に「生物多様性の保全」を追加し、2020年度に向けた新たなNTTグループ環境ビジョン「THE GREEN VISION 2020」を制定しました。

今後、グループの全員が一丸となって、この新たなビジョンを実現していきます。

1. 「THE GREEN VISION 2020」のコンセプト

NTTグループは、人類と地球が調和し社会の持続可能な発展を実現するため、2020年に向けてICTとグループ社員力で歩み続けます。

地球環境における「低炭素社会の実現」、「循環型社会の形成」、「生物多様性の保全」を未来にわたって取り組むべき3つの環境テーマとしてとらえ、それぞれのテーマに対し「Green of ICT」、「Green by ICT」、「Green with Team NTT」の3つのアクションで推進していきます。

2. 「3つの環境テーマ」の具体的内容について（[別紙2](#)参照）

(1) 低炭素社会の実現

地球温暖化を防止するため、自らの事業活動にともなうCO₂排出量を削減するとともに、ICTサービスを普及拡大させることで、社会全体のCO₂削減に貢献し、低炭素社会の実現を目指します。

自社のCO ₂ 削減	国内において、成り行き ※2 より200万t以上低減させることで、2008年度より総量を15%（60万t-CO ₂ ）以上削減します
社会全体のCO ₂ 削減	ICTサービスを利活用することにより社会全体で2,000万t以上の削減に貢献します

(2) 循環型社会の形成

限られた資源を有効利用するため、自らの事業活動から排出される全ての廃棄物と、紙使用量を削減することで、資源循環型社会の形成を目指します。

廃棄物の削減	・全廃棄物合計の最終処分率を2%以下にします ・撤去した通信設備廃棄物のゼロエミッション※3を継続します
紙資源の削減	紙の総使用量を2008年度より30%以上削減します (総量で5.8万 t 以下に削減)

(3) 生物多様性の保全

生物多様性の保全に貢献するため、新たに策定した2つの取り組みの考え方にに基づき、これまで進めてきた取り組みの改善と更なる発展をさせていきます。

事業活動を軸とした展開	あらゆる活動が地球上でつながり生物多様性と関わりが深いことを認識し、事業特性に応じて関係する国内外の活動範囲とその影響を把握し、保全効果が認められる取り組みを継続的に推進します。
社会への貢献を軸とした展開	事業との関連性にとらわれず広く、生物多様性の保全に向けた取り組みをステークホルダーとともに推進し、その成果を情報公開していきます。

3. 「3つのアクション」の具体的内容について (別紙3参照)

(1) Green of ICT	電力使用量の削減、自然エネルギーの導入、及び設備のリユース・リサイクルの推進など、自らの事業活動における環境負荷を低減します。
(2) Green by ICT	ブロードバンドなどを利用した様々なICTサービスを普及拡大することによって、社会全体の環境負荷低減に貢献します。
(3) Green with Team NTT	事業活動での取り組みに加え、グループ社員一人ひとりが、職場、家庭、及び地域におけるエコ活動を実践し、環境負荷の低減に取り組んでいきます。

《環境ビジョン詳細情報の参照先》

2020年度に向けた新たなNTTグループ環境ビジョンは、CSR報告書2010の特

集記事として、以下のホームページで公開しています。

<http://www.ntt.co.jp/csr/2010report/special/vision01.html>

- ※ 1 NTTグループの地球環境保護に関する基本理念と方針を明文化したもの。グループの事業活動と環境保護の両立が必要であるとの認識のもと基本理念と6つの基本方針から構成（1999年制定）。
- ※ 2 2008年度と同様のCO₂削減対策を継続した場合のCO₂排出量。
- ※ 3 国連大学が提唱した構想で、産業から排出される全ての廃棄物や副産物がほかの産業の資源として活用され、全体として廃棄物を生み出さない生産を目指そうとするもの。NTTグループでは、最終処分率1%以下をゼロエミッションと定義。

- [\(別紙1\) 2010年度目標の達成状況](#)
- [\(別紙2\) 2020年度に向けた削減・低減イメージ](#)
- [\(別紙3\) 具体的なアクション](#)

<本件についての問合せ先>

日本電信電話株式会社

環境推進室

潮崎、小松、西

電話：03-5205-5326 FAX：03-5205-5329

E-mail：kankyo@ml.hco.ntt.co.jp

NTT ニュースリリース 